かわぐちYEGぷれす

青年部　第24代会長
笛木　大

『水滴石穿』
～それぞれの挑戦を積み重ね、大きな成果をあげよう～

新年あけましておめでとうございます。
謹んで新春をお祝い申し上げます。

長引くコロナ禍のもとで徐々に終息に向けた兆しが見えつつありますが、現在も感染者数は高止まりをしている状況です。そんな中、我々は過去の経験を活かし皆で工夫を凝らして各委員会主管の例会も3年振りに対面で開催する事が出来ました。

さらに11月には、過去2年間延期せざるを得なかった川口花火大会も、7万5千人もの方に御来場をいただき、事故もなく無事に開催する事が出来ました。改めて委員長始め、会員各位そして事務局の皆さまには厚く御礼を申し上げます。

さて、令和4年度に146名でスタートした我々川口YEGですが、皆さまの活動のおかげで163名で新年を迎える事ができました。江原副会長を中心にDFY（DISCOVER FROM YEG)では、他委員会を知り新しいメンバーとの出会いがあり、この川口YEGで新たな発見が出来たと思います。事前の調整や当日の設営も含め、沢山ご苦労をおかけしたかと思いますが、想いを叶えて頂きありがとうございました。

私の願いはこの経験を活かしメンバーが川口YEGの事業に積極的に参加し、経験と人脈をビジネスに最大限生かしていただきたいです。

今年度も関東・県連へと8名ものメンバーが出向をしてくれています。令和7年度には関東ブロックの主管地としてブロック大会が開催されますが、次年度には準備会議も立上り、大会へ向けての協議が始まっていきます。

次年度出向者も日本を始め関東、県連と多くのメンバーが出向を予定しています。我々の代表として出向するメンバーを応援し積極的に各事業へ参加をして共に学んでいきましょう。自分にかけた負荷は必ず良い形で自分に返ってきます。

一歩一歩は小さくても、継続し続ける事で確実に成長をしていきます。地域のために、家族のために、自分のために挑戦を積み重ねて、大きな成果を皆であげましょう。

令和4年度も残すところ後2ヵ月となり、次年度へバトンを繋ぐ時期となりましたが、最後までお預かりしている会長職を誠心誠意務めて参ります。引き続き皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

青年部　第25代会長
高 倉 光 俊

『Innovation For The Future』

～一歩を踏み出す　感動と情熱を手に～

令和５年度会長を仰せつかりました、高倉光俊と申します。

新型コロナウィルス感染症の影響により、多くの活動が制約されていましたが、昨年から少しずつ再開できるようになりました。令和５年度においては、取り戻した日常の先にある、新しいYEGを創ってゆきたいと思います。

川口YEGは、令和８年に40周年を迎えます。そこに至るまでは、関東ブロック大会の開催、商工会議所事務局機能の移転を始め、多くの課題が待ち受けています。その課題に立ち向かうため、令和５年度は、「未来のための変革」をスローガンとしました。

組織構成において、第３回川口花火大会の企画を中心に行うシティープロモーション実行委員会に加え、令和７年度の開催を予定している「関東ブロック大会」準備委員会を設立します。さらに、役員のうち約３分の１を新任とし、正副会長会議に所属する大部分のメンバーを４０代前半とすることで、数年後の未来を見据えた組織としました。

歴史を振り返れば、川口YEGは、全国商工会議所青年部連合会（現在の日本YEG）の発足から５年後、次世代を担う青年経済人達の研鑽の場として創設されました。創設以来、いつの時代においても、さまざまな課題に挑戦し、乗り越えてきました。どのような困難が立ちはだかろうとも、私たちは川口YEGを次代へと引き継ぐ責任があります。その想いを忘れず、多くの先輩方が積み重ねてきた歴史に新しい1ページを重ねるべく、一歩を踏み出してゆきます。

YEGの指針は、最初に「地域を支える青年経済人として、先導者たる気概で研鑽に勤めよう」と定めています。多くの課題にまみえる今だからこそ、青年経済人としての責任を自覚し、その力を磨いてゆかなければなりません。川口YEGメンバー全員が、自らを研鑽し、自身や自企業に生かせる活動ができるよう、全力を尽くす所存です。

みなさま、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度CP特別委員会 委員長　**大 隅 崇 史**

令和の幕開けに合わせて打ち上げた川口花火大会から３年。台風やコロナの影響で延期が続き、いつ第２回を開催できるだろうと思い続けやっと叶った第２回川口花火大会を令和４年11月５日に開催することができました。今は大きな事故も無く終われた安堵感と共に、構想した二瓶歴代、渡邊第１回委員長、笛木現会長から託されたバトンを次に繋げることができとても嬉しく思っています。

今年は、前回の教訓を活かし、より良い大会にしようとメンバー全員が一丸となり【みんなの笑顔が花火らく未来を】をテーマに様々な困難に怯むことなく突き進みました。大会数日前の事前準備から大会後の清掃に至るまで、委員会メンバーだけでなく、全川口YEGメンバー、OBの皆様のご協力により、慣れない肉体労働で汗をかき、筋肉痛に悩まされながらもなんとか乗り越える事ができました。当日まで気づかなかったいくつかの問題点もメンバーそれぞれが考えて実行し、解決に導いてくれました。異業種の集まりであるYEGの底力を見せつけられた瞬間でした。

ＣＰ特別委員会は、ほぼ各委員会からの内部出向者で構成されていて、多い時には委員会参加メンバーで40名を超える事もありました。才能溢れるメンバー、先輩達の中で自分がリーダー役を全うできるのかと、かなりのプレッシャーを感じながらのスタートでしたが、真剣に議論し、共に苦労を味わったことで達成した先にある喜びを楽しむ事ができました。

最後に、いい加減で怒りっぽい委員長でしたが、見捨てず、懲りずに支えてくれた副実行委員長をはじめとしたメンバーの皆様、事務局の皆様、この環境を頂いた笛木会長に改めて心から感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。ありがとうございました。

総務交流委員会 委員長　早 川 悦 生

この度、令和5年度総務交流委員会の委員長を仰せつかりました早川悦生と申します。令和元年に総務広報委員会に入会し、5年目となりました。コロナ禍により、2年間は様々なことが起こりましたが、その中でもKKT実行委員会、CP特別委員会、第５ブロック長、そして前年度の総務広報委員会の副委員長を経験させていただきました。多くの方々との出会いの中でたくさんの失敗や普段の仕事ではできない経験をすることができ、様々なことを学びました。

今年度は、総務広報委員会ではなく総務交流委員会となり、総会の運営を中心とし、新たな交流事業も皆さんと共に挑戦し、楽しむ時にはとことん楽しく、締めるところはきちっと締め、でもユーモアを交えながら運営できたらと思っております。年度の最後には、総務交流委員会で良かったと言われるような委員会にしたいと考えております。皆様のお力添え、何卒よろしくお願いいたします。

経営開発委員会 委員長　山 崎 一 政

この度、令和５年度経営開発委員会の委員長を仰せつかりました山崎一政と申します。

経営開発委員会は「ビジネス開発・交流」に関する例会を任され、士業メンバーも多いことから堅いイメージもありますが、それと並行して明るく楽しい雰囲気づくりに歴代委員長が注力してきたことを私も側で見てきました。これを来年度も、そしてさらにその先の世代にも繋いで行けたらと思っています。

思い返せば私は令和元年に川口ＹＥＧに入会しました。もともと会社勤めだったのですが、意を決して令和元年に独立起業し、そのすぐのタイミングで入会したのですが、皆様とても暖かく迎えて頂き、お仕事の紹介も頂いたり、ＹＥＧの事業や非公式の遊びも含めて様々な貴重な経験をさせて頂き、大変恩義に感じています。

実は私は年齢的に令和５年度が卒業年度でラストイヤーとなります。

伝統ある経営開発委員会の委員長を精一杯務めながら、メンバーには各々有意義な時間を過ごして頂き、自分自身も思い出を作って爪痕も残し、胸を張って卒業できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

未来NW委員会 委員長　大 川 敦 史

この度、令和5年度未来ネットワーク委員会の委員長を仰せつかりました大川敦史と申します。

『未来ネットワーク委員会』他の委員会と比べて、何をする委員会なのか分かりづらい委員会名であります。解釈によっては基本のコンセプトさえ外さなければ何でも出来る委員会とも考えられます。まさに「未来が広がる自由な活動」が生まれるのではないでしょうか。

令和4年度の事業を継承しつつ違った角度からのアプローチを取り入れ、新鮮な気持ちで前向きに自ら楽しみながら活動していくことで川口YEGの魅力を関係団体に伝え、更にはその活動に賛同し共に歩む仲間を増やしていく。そんな役割を持つのが当委員会であると考えます。

あまりにも漠然とした内容で、書いている私自身も不安になるところではありますが、今まで未来ネットワーク委員会を支えて来て頂いた皆様と新たにメンバーとなる皆様と一緒に精一杯務めさせて頂きます。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

市民祭り委員会 委員長　中 村 賢 次

令和５年度、市民祭り委員会の委員長を仰せつかりました中村賢次です。

令和元年度に入会して、先輩などのご指導をいただきながら市民祭り委員会副委員長を２年間務め、関東ブロック商工会議所青年部連合会にも出向させていただき沢山の交流と学びを得る事ができました。

昨年３年ぶりに開催された第４２回たたら祭りでは初めて企画から設営まで携わる事ができ、あらためて『祭りが生み出すパワー』を実感しました。

市民祭り委員会の伝統を継承しつつ、今の時代に見合った新たな挑戦もしていきたいと思います。

私自身、和太鼓やお神輿など数多くのお祭りを経験してきた事を『強み』として楽しいステージを作り上げ、市民の方々に最高のパフォーマンスができるよう設営して参ります。

皆様のアイデアやお力添えもいただきながら笑顔で突き進んでいきますので、どうぞ１年間よろしくお願いいたします。

CP特別委員会 委員長 兼副会長　山 田 知 則

次年度、シティープロモーション特別委員会の委員長を仰せつかりました山田知則と申します。

メインの事業は川口商工会議所主催による【川口花火大会】の企画運営です。

昨年の第二回川口花火大会は７万５千人もの方々にお越し頂き、大成功を収める事が出来ました。「みんなの笑顔が花火（はなひ）らく未来を」のテーマのもと、各委員会からの出向メンバーを中心とした多くのメンバーが力を合わせて取り組んだ結果でした。

各々が本業で忙しい中、時間を割いていただくのは大変だと思いますが、商工会議所青年部のメンバーが一丸とならないことにはこの大きな事業は成功させることが出来ません。

ぜひ、【第三回川口花火大会】も多くの人々が笑顔になれるよう一緒に頑張りましょう!!

私もまだまだ至らぬ点が多いと思いますが、率先垂範な行動で精一杯頑張りますので皆様どうぞよろしくお願い致します。

関東ブロック大会準備会議議長 兼副会長　江 原　均

小粋な江原と囃し立てられ早2年が経とうとしています。改めまして令和5年度 副会長 兼 関東ブロック準備会議 議長としての役を演じさせていただく江原でございます。

さて川口YEGは令和7年度に関東ブロック大会を主管します。その事業を成功させるために関東ブロック準備会議室が発足されました。私の考える事業は、川口YEGメンバーに負担をかけるのではなく、楽しんでいただくことをモットーに、大会開催までの残りの2年をかけて、丁寧に事業基盤をつくり上げます。

また私は毎年5つほど、自分がチャレンジしたことがないことに挑んでいます。今年のその一つが、関東ブロック商工会議所青年部連合会の副会長という役です。だからこそ、埼玉県連をはじめ、川口YEGのために身を粉にして頑張らせていただきます。

最後に恒例のなぞかけを一つ、「片思い」とかけまして「それぞれの事業の出向」ときます。その心は『どちらも最初の一歩が大切です』。最後までご一読いただき、ありがとうございました。

令和5年度 委員長挨拶

かわぐちYEGぷれす

地域別ブロック部会　部会長　**江 連 俊 隆**

この度、令和5年度ブロック部会長を仰せつかりました江連俊隆と申します。

前年に第1ブロック長を務めさせていただき、第１ブロックの事業としては写経体験と交流会を開催させていただきました。前年はこのようにブロック毎に部会を行っておりました。令和5年度も引き続きブロック毎に部会を開催していただき、独自の手法で各部会を盛り上げていただきたいと考えております。

ブロック部会の役割は「OBとの交流」や「地域活性化の活動」を積極的に行うことにあります。「OBとの交流」を通じて自社を見つめ直すきっかけとなり、新たな発見や新たな展開に発展していくこともあるかもしれません。そのような魅力がブロック部会にあります。ブロック部会長として、各ブロックが活発に部会を開ける工夫を模索し、各自が「OBとの交流」が図れる“絶好の機会”を提供できるよう、取り組んで参りたいと存じます。

皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。合掌

令和5年度度 役員紹介

かわぐちYEGぷれす

役　職	氏　名	所属委員会	役　職	氏　名	所属委員会
会　長	高　倉　光　俊		理事兼副委員長	高　橋　康　二	市民祭り
直前会長	笛　木　　大		理事	石　井　早　苗	市民祭り
副会長兼関東ブロック準備会議議長	江　原　　均	関東ブロック	理事	増　田　喬　歳	関東ブロック・市民祭り
副会長	太　田　大二朗	総務交流	理事	平　澤　宏　之	CP特別・市民祭り
副会長	橘　　信　之	市民祭り	理事	竹ノ谷　光　史	CP特別・市民祭り
副会長	長谷川　直　志	経営開発	理事兼副委員長	下　重　郁　美	経営開発
副会長	武　藤　康　弘	未来 NW	理事	渡　部　大　輔	経営開発
副会長兼CP特別委員会実行委員長	山　田　知　則	CP特別	理事	金　井　　洋	経営開発
専務理事	佐　野　雄一朗	無所属	理事・地域別ブロック部会長	江　連　俊　隆	経営開発
常務理事	塚　越　大　輔	無所属	理事	田　中　秀　典	関東ブロック・経営開発
総務交流委員会委員長	早　川　悦　生	総務交流	理事兼副委員長	高　柳　早　希	未来 NW
市民祭り委員会委員長	中　村　賢　次	市民祭り	理事	矢　作　充　弘	未来 NW
経営開発委員会委員長	山　崎　一　政	経営開発・CP特別	理事	小　松　和　人	未来 NW
未来NW委員会委員長	大　川　敦　史	未来 NW	理事	竹　本　佳　標	関東ブロック・未来 NW
関東ブロック準備会議副議長兼理事	渡　邊　洋　介	関東ブロック	理事	飯　塚　祐　輔	CP特別・未来 NW
理事	大　隅　崇　史	CP特別	総務交流委員会　監事	沼　口　洋　輝	総務交流
理事兼副委員長	椎　名　静　子	総務交流	市民祭り委員会　監事	佐　藤　康　洋	市民祭り
理事	石　橋　和　義	総務交流	経営開発委員会　監事	竹　田　光　成	経営開発
理事	中　野　偉　雄	関東ブロック・総務交流	未来NW委員会　監事	松　木　大　介	未来 NW
理事	稲　垣　光　隆	関東ブロック・総務交流	相談役	高　橋　英　彰	市民祭り
理事	山　崎　真之介	CP特別・総務交流			

令和５年度 年間スケジュール

かわぐちYEGぷれす

	単会事業				親会・青経人	埼玉県連	関東ブロック		日本YEG	
	例会（他）	担当	役員会等							
4月	第５６回通常総会 卒業式（例会） （通常総会と同日開催）	総務交流委員会 市民祭り委員会	5 12	正副 役員会			21	役員会・スクラム推進委員会	14 28	第315回役員会 （香川県高松市） 全国会長会議 （東京都）
5月	会員オリエンテーション	正副会長会議	10 17	正副 役員会			20 20	定時総会・春の会長会議 役員会・スクラム推進委員会	18	第316回役員会 （大分県中津市）
6月			7 14	正副 役員会			29	スクラム推進委員会	16	第317回役員会 （高知県高知市）
7月			5 12	正副 役員会			25	スクラム推進委員会	21	全国サッカー大会 (静岡県藤枝市) 第318回役員会 （石川県小松市） 全国ゴルフ大会 （千葉県茂原市）
8月	会長選任委員会設立 たたら祭り　（例会）	専務理事 市民祭り委員会	2 9	正副 役員会			25	役員会・スクラム推進委員会	1～7 31	第100回会員総会（Web） 第319回役員会 （北海道札幌市）
9月	会長選任委員会 ビジネス開発・交流に関する例会	会長選任委員会 経営開発委員会	6 13	正副 役員会		研修と交流の集い （熊谷大会）	26	スクラム推進委員会	1～2 8～9 15～16 22～23 29～30	北海道ブロック大会 （北海道小樽市） 四国ブロック大会 （徳島県阿南市） 九州ブロック大会 （熊本県玉名市） 北陸信越ブロック大会 （富山県射水市） 東海ブロック大会 （愛知県豊橋市）
10月			4 11	正副 役員会	商工会議所会員大会		27 27 27～28	定時総会・秋の会長会議 役員会・スクラム推進委員会 関東ブロック大会（三島市）	6～7 12 13～14 27～28	東北ブロック大会 （青森県むつ市） 第320回役員会 （広島県広島市） 中国ブロック大会 （山口県柳井市） 近畿ブロック大会 （大阪府和泉市）
11月	第３回川口花火大会 （例会） 地域団体と会員の意見交換に関する例会	CP特別委員会 未来NW委員会	1 8	正副 役員会	青経人交流事業		22	スクラム推進委員会	16 16～18 17	第321回役員会 （高知県高知市） 第41回全国会長研修会 （高知県高知市） 第101回会員総会 （高知県高知市）
12月			6 13	正副 役員会			15	役員会・スクラム推進委員会		
1月	第５７回通常総会 新年会（例会）通常総会と同日開催	総務交流委員会 総務交流委員会	10 17	正副 役員会	商工会議所賀詞交歓会		23	スクラム推進委員会	19	第322回役員会 （静岡県浜松市）
2月	委員会所属会議	正副会長会議	7 14	正副 役員会		ヤングリーダー研修会 （春日部大会）	23	スクラム推進委員会	16	第323回役員会 （千葉県柏市）
3月			6 13	正副 役員会	青経人合同例会		22	役員会・スクラム推進委員会	13～17 14 15	第43回全国大会 （石川県小松市） 第32４回役員会 （石川県小松市） 第102回会員総会 （石川県小松市）

青年部新入会員募集

会員の資格 川口商工会議所会員事業所の代表者又はその代表者の推薦する事業従事者であって満49歳以下の方。ご連絡をお待ちしております。

地域を支える青年経済人として
我々とともに活動しませんか!!

青年部事務局／川口商工会議所　地域振興課
担当　庭田
TEL. 228-2220　FAX.228-2221
〒332-8522　川口市本町4-1-8　川口センタービル8階
ホームページ　http://1110yeg.jp